

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 3 月 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 一般会計, 法令根拠, 事業(01~05), 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度.

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

中学校生徒の問題行動等(不登校・いじめ・非行など)を未然に防止するため、家庭訪問や教育相談・学区内パトロールなど、各中学校において総合的に生徒指導を行っている。
この事業に要する経費は各学校で予算令達により執行している。

Table with columns for (1) 事務事業の目的, ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標, 単位.

Table with columns for (2) 指標値の推移, 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標).

Table with columns for (3) 投入量(事業費)の推移, 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量.

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
中学校生徒の問題行動(不登校・いじめ・非行など)の未然防止を図るため、平成18年度から本事業を実施している。
生徒の問題行動の多様化

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	中学校生徒指導対策費助成事業	事務事業No.	31229021	所属課	学校教育課
-------	----------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 中学校生徒の問題行動等(不登校・いじめ・非行など)を未然に防止するため、不登校生徒の家庭訪問や教育相談・学区内パトロールなど総合的に生徒指導を行っていることは学校教育の充実に結びつく。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 中学校生徒の問題行動等を未然に防止することは、市教育委員会の責務である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 対象・意図とも適切である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 生徒の問題行動等も未然に防いでいる。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 生徒の問題行動等が未然に防ぐことが出来なくなる。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 最小限の支出で、事業をしているので削減の余地なし。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 学校予算執行に係る最小必要限の指導事務で削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 中学校の全生徒を対象としているので、受益者負担は公平・公正である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 生徒の問題行動(不登校・いじめ・非行)を未然に防ぐために、家庭訪問や教育相談など諸活動を実施してきた。																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(3)-1 改革改善策 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項